



報道関係者各位

令和7年4月9日
青森県立保健大学

修士（公衆衛生学）学位プログラム（MPHプログラム）の 最初の修了生が巣立っていきました

1. MPHプログラム開設の背景

青森県では、全国でも低位で推移している平均寿命の問題をはじめとして、感染症等の健康危機管理、生活の質向上といった公衆衛生上の課題が山積しており、その解決のための活動の中核を担う人材の中長期的な育成が必要とされています。この課題解決のため、令和5年度、本学大学院に修士（公衆衛生学）学位プログラム（MPHプログラム）を開設いたしました。

2. 入学者のMPHプログラムにおける学び

令和5年度に最初の MPH プログラム生として、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師等、多様なバックグラウンドを持った11名が入学し、疫学、生物統計学、保健政策、医療管理学、社会行動科学、環境産業保健学から成る、国際標準の5つのコア領域に基づく履修科目により、さまざまな分野の専門知識を多角的に修得しました。また、各自の研究テーマについて、指導教員やゼミ生等とのディスカッションを経て修士論文としてまとめ、論文審査等を経て、この度4名の大学院生が修了しました。さらに、このうち2名は学業や研究活動において、特に顕著な業績をあげたとして、令和7年3月6日に行われた卒業証書・学位記授与式において、最優秀学修賞、優秀学修賞として表彰されました。

3. 教育資源の地域還元～MPHプログラム特別聴講～

青森県で保健・医療及び福祉分野に従事する方が、学び直しや交流を深める機会として、本学大学院生と共に MPH プログラムの一部科目を受講できる「MPHプログラム特別受講」を実施しています。

令和5年度から令和6年度にわたり、医師、保健師、助産師、看護師、社会福祉士、行政や病院の管理職・事務職等、延べ36名が受講しました。受講者からは、「有意義であった」との声を多くいただきました。

4. 本学大学院の今後について

本学大学院では、青森県をはじめとした地域をフィールドとした研究を行う学生に加え、近年では外国人の入学者が増加（博士前期課程 令和6年度1名、令和7年度3名）し、博士後期課程では秋入学も開始する予定です。今後、多様なバックグラウンドを持った学生が交流を深めていくことにより、より多角的な視点から保健・医療・福祉における課題解決に寄与する研究につながることを期待されます。

さらに大学院をパワーアップさせるため、令和8年度から専門看護師教育課程（CNSコース）に、新たに「感染症看護」及び「老人看護」の2つのコースを開設する予定です。

問い合わせ*****

青森県立保健大学

TEL:017-765-2008 FAX:017-765-2188

担当：教務学生課 寺田（大学院担当）
